

## 学校教育目標

☆学ぶ力のある子 【知育】  
☆心の豊かな子 【徳育】  
☆たくましく生きる子 【体育】

# あけとの子

活かに満ち さわやかで 心なごむ学校

深谷市立明戸小学校

令和3年12月号

発行令和3年11月30日



本を読む・・・心を感じる

深谷市立明戸小学校長 強瀬 雪乃

今年の11月。暑くて半袖で過ごす日や、重ね着をしたくなるような日など、天気予報を伝えるアナウンサーは「今日は何を着たらいいのか・・・」を毎日発信していたように感じます。季節の境目がはっきりしないうちに落ち葉が風に舞い、2学期も残すところ後1カ月となりました。

10月から2か月間。読書月間として、学校全体で読書をすすめてきました。10月、11月は一人ひとりが自分の読書の幅を広げ、興味や楽しみを感じながら図書室へ足を運んでいる様子を感じました。1～6年生の平均読書量は、10月は12冊、11月は15冊。(11/19 現在) 分類別でも0～9分類全てを読んでいたようです。ゆっくりと、自分の時間を読書に費やせる習慣が身についてきた児童も増えているようです。先月お知らせした「全国平均の読書量」より増えています・・・。

さて、国語科の教科書には、子どもの発達段階に合わせて様々な物語文が載っています。登場する人物が事件や出来事に遭いながら、自分以外の人物と関わり合い少しずつ成長していく様子を、子どもたちは追体験して、自分と比べながら生き方を考え、学習していきます。

**低学年**では、動物が主人公の話など登場人物になりきって気持ちを想像したり、その場面での様子を自分が見ているかのように表現したりします。

**中学年**では、登場人物の心情や様子を想像して「自分とは違う・・・」「自分と同じ気持ちだ・・・」と自分と比較、比べながら読んでいきます。

**高学年**では、その物語の中に出てくる表現や言葉、その比喻など分析しながら読むようになります。生活の中でも、言葉を引用したり、自分の言葉として捉えたりすることもできるようになります。このような国語科における物語文は、見えない物を想像したり、行間を読んだり、自分とは異なる人物の心情を想像したりすることは、人の痛みを感じたり、喜びを共感したりする基礎になります。読書の大切な要素です。日常の指導を通して、読む力を獲得できるよう、継続的に指導していきたいと思っております。ご家庭でのご協力もお願いします。



秋晴れの続く11月19日金曜日、4年生の現地学習『蕪塚直次郎を歩く』へ行ってきました。渋沢栄一翁と共に同じ時代を生きた郷土の人々への想いを改めて深め、地域への貢献と職人としての誇りと心意気を感じることができました。



日	曜	日課・業前	行事等	日	曜	日課・業前	行事等
1	水	学力向上タイム	5時間授業 教育相談日 開校記念日	13	月	朝清掃	
2	木	学力向上タイム	委員会	14	火	表彰朝会	まごころ訪問
3	金	業前運動	6年生明中入学説明会	15	水	学びの時間	学年会計監査
4	土			16	木	読書	学年会計監査
5	日			17	金	業前運動	清掃週間①
6	月	朝清掃		18	土		
7	火	学力向上タイム	34年生持久走大会	19	日		
8	水	学力向上タイム	25年生持久走大会	20	月	学級の時間	4時間授業 清掃あり
9	木	学力向上タイム	16年生持久走大会	21	火	学級の時間	4時間授業 清掃あり
10	金	学力向上タイム		22	水	学級の時間	4時間授業 清掃あり 給食最終日
11	土			23	木	学級の時間	D日課3時間授業
12	日			24	金	終業式	D日課3時間授業

※12月25日(土)から17日間の冬季休業日となります。3学期始業式は1月11日(火)になります。



## 11月11日 ふるさと深谷栄一翁集会 実施

令和3年11月11日は、渋沢栄一翁が亡くなられて90年になる日でした。NHKの大河ドラマ「青天を衝け」もクライマックスに向かっていきます。本校では、栄一翁の功績を偲んで、「ふるさと深谷 栄一翁 集会」を実施しました。

実施内容は、各学年において、これまでに習った栄一翁関連の学習を全校で紹介するという企画です。各クラス3～6名、発表児童を選出し、多目的室を撮影場所にして、オンラインで実施しました。

<p>1年生</p>	<p>2年生</p>	<p>3年生</p>	<p>4年生</p>	<p>5年生</p>	<p>6年生</p>
<p>栄一翁の家では、藍玉を作って商売をしていた。1年生は、藍を種から育てて、その葉っぱを利用して、藍のたたき染め体験を行いました。葉っぱを好きなところに置いて、お気に入りのバックを作成しました。</p>		<p>「備前渠」は400年前に作られた、手堀りの用水路です。約100年前には、尾高惇忠さんが備前渠に関連した用水路の課題を解決しました。令和2年に「世界かんがい遺産」に認定されました。2年生は、まち探検にて、じっくり見学してきました。</p>		<p>3年生は、社会科で深谷市を学習しました。深谷市役所が中心に位置し、各地域の調整を行っていることを学びました。今年から新築したレンガ造りの市役所が、渋沢栄一翁と関わっている事も知り、レンガ工場の様子も調べました。</p>	
<p>4年生は、社会科見学で栄一翁が幼少期に育った八基地区を歩きました。記念館や中の家以外にも、獅子舞で有名な諏訪神社や鹿島神社、論語の道や尾高惇忠生家など、マニアックな場所も見学して深めました。</p>		<p>5年生は、社会科見学で富岡製紙場を見学しました。深谷3偉人の一人「荻原直次郎」を中心に手掛けた日本初のレンガの建物です。この場所で、生糸の生産法を学んだ工女が、全国各地で活躍し、明治前期の軽工業を発展させました。</p>		<p>6年生は、修学旅行で日光東照宮を見学しました。東照宮は江戸幕府の初代将軍「徳川家康」を祀っています。栄一翁は徳川幕府に仕え、そして活躍しました。その功績や幕府への想いから、「東照宮」の文字を石柱に書き残しています。</p>	

どの学年も、わかりやすく発表することができました。聞いている側も、渋沢栄一翁は多方面で活躍していたことを実感することができました。